

令和6年度 第4回大山崎町社会教育委員会議（報告）

- I 日 時 : 令和7年2月21日(金) 午後3時30分～同5時5分
II 場 所 : 大山崎町役場 3階 中会議室
III 出席者 : 15名
○ 出席委員（8名）
○ 事務局（7名）
IV 会議名 : 令和6年度第4回大山崎町社会教育委員会議
V 内 容 : 以下のとおり

【要点】

2件の議題（(1) 令和6年度生涯学習課関係事業報告について、(2) 令和6年度社会教育委員会議関係事業報告について）について、審議のうえ、いずれも承認された。

また、事務局から4件の報告を行った。

なお、傍聴希望者はなかった。

1 開 会 事務局

2 教育長あいさつ

3 委員長あいさつ

※ 大山崎町社会教育委員会議運営規則による会議成立の宣言（定足数を満たす8名の委員の出席を確認）

4 議 題

※ 以降の進行は委員長が担当

(1) 令和6年度生涯学習課関係事業報告について 事務局
事務局から令和6年度（11月16日～2月10日）の生涯学習課関係の事業実績について報告

* 質疑応答

<大山崎おもてなしアンヌアーレについて>

委員

大山崎おもてなしアンヌアーレは、見に行ったのですが、離宮八幡宮付近は人がいっぱい出ておられたのですが、その他はあまりお客さんが少なかったような

気がします。好評だったのでしょうか。また、中央公民館はどのように関わっておられるのでしょうか。

事務局

大山崎おもてなしアンヌアールの主催者から、大山崎駅前だけでなく町全体で実施したいということで、ちょうど町の真ん中ぐらいにある中央公民館でもワークショップを開催するなど協力してもらえないかというお話があり、その趣旨に賛同して協力させていただいております。

今年に関しては、確かにちょっと天候も悪かったので、少なかったかもしれませんが、中央公民館では29名参加していただいておりますので、一定の成果はあったかなと思っております。

<大山崎町天王山カップ少年少女フェンシング大会について>

委員

天王山カップ少年少女フェンシング大会は全国規模ですか。

事務局

全国でございます。全国の小学1年生から中学3年生までを対象とさせていただきます。

大会名が異なりますが、昔は国や京都府から補助金を受けて開催していたこともありましたが、現在は町単独で開催しております。

もともとは、昭和63年の京都国体で、本町がフェンシング競技の会場となりましたので、それからずっと続いています。今年は天王山カップとしては第7回です。

委員

他の例えば「全国学生フェンシング選手権大会」のように、大会名から全国大会というのが読み取れると、わかりやすいかなと思っておりました。

全国から2日間にかけて小中学生が来るということは、当然父兄がついて来られるのでしょうか。

事務局

大山崎町はフェンシング業界では全国的にも有名です。大会は計2日間にわたって開催していますが、各カテゴリーは1日でするようにしております。

南は九州、東は東京からも参加いただいております。

新人戦のような大会です。フェンシングを始めたばかりの子どもたちの大会という形で始めたのが最初です。オリンピックに出た太田選手や飯村選手も、大山崎町のフェンシング大会に選手として出場していますし、ゆくゆくはオリンピックに出るというような選手も多いです。特に京都フューチャーフェンシングクラブというチーム、大山崎町の子どもたちも入っているのですが、そのチームからは強い選手が出ており、取材に来られたこともあったと記憶しています。地元の方はあまり知らないのですが、フェンシング界では全国的に有名です。

ですから、地元の方にもっとよく知ってもらえるようにしなければというのが課題になっております。

<お気に入りの音楽を聞く集いについて>

委員

中央公民館で開催された「お気に入りの音楽を聞く集い」は、具体的にどんな形の集いでしょうか。

事務局

参加者がそれぞれ好きなCDを持ち寄って、みんなでお気に入りの音楽を聴いて話そうという企画です。参加者は少なかったですが、参加してくださった方はいい企画だとおっしゃってくださいました。ある方は、加藤登紀子さんのファンで、長い時間聴いておられました。

委員

家では聞けないぐらいの音量で流したのでしょうか。

事務局

防音の部屋でしたので、ちょっといいスピーカーをチューニングしました。

◎各委員が承認

(2) 令和6年度社会教育委員会議関係事業報告について

事務局

事務局から令和6年度（11月21日～2月10日）の社会教育委員会議関係の事業実績について報告

<乙訓社会教育委員等連絡協議会研修会（2月3日）について>

委員

委員に講演いただいたのですが、いつも言葉少なくおられるので、こんなに上手に話されるのかと驚きました。横文字に弱い私ですが、「チームダイナミクスで超える、72時間の壁」というお話を聞かせていただき、緊急消防援助隊がこんなに頑張ってくださいていることを知ることができました。演習で楽しかったのは、避難グッズを10個あげるように言われて、自分で書いてみたのですが、なかなか浮かんでこなくて、みんなと話し合った結果、眼鏡や薬などまったく忘れていたものもあって、みんなで集まって話し合うことは大事だなというのがわかりました。ゲーム方式で進められたのがよかったかなと思いました。

委員

人間ってこんなに幅広く活動できるのかというのが僕の率直な感想です。消防の仕事以外に、教員免許も取られ、ライフセービングもされているというのはすごいなと感じました。

講演では、救助に駆けつけたものの、ほとんど亡くなっている方しか発見でき

なかったのが非常に残念だったとお話になりました。災害時にすぐ行ってすぐ活動ができるわけじゃないので仕方ないとは思いますが、厳しい体験をされ、ショックも受けられたでしょうが、それにめげずにこれからも活動されることをお願いしたいと思います。

後半の演習も面白かったです。「はい」か「いいえ」がどちらかを選びなさいというもので、例えば弁当は200食しかないけど、避難者は300人いたときに、どうやって配るか、あるいは配らないかというテーマがありました、回答に正解はないですが、その場で臨機応変に半分ずつ配るとか、家族単位で配るとかの知恵を働かせて危機を乗り越えなければいけないなと思いました。

委員

委員のファシリテーションが見事で、前半の講演では、特に安全管理の話がすごくためになりました。研修会に参加して以来、「119 エマージェンシーコール」という月9のドラマを見るようになりました。委員はこんな仕事をしておられるのだなと思いながら見ております。

それから、後半は、避難グッズを10個あげて、どれが一番大事かみたいなグループワークがありました。あれ以来、あちらこちらへ行くと防災グッズのお店で簡易トイレを選ぶようになりました。そういうきっかけを与えてくださった研修会でした。ありがとうございました。

委員

講演では、住環境と災害特性から何をすべきか考えるというお話がありました。私は円明寺が丘団地に住んでおりますので、自宅に避難する方が安全じゃないかなと考えたりしました。普段からすべきことをやるということが大事ですが、なかなかこれが難しいなというのが実感です。みんなが食事をするところにある水屋が倒れてきたら大変だろうな、倒れないようにしないといけないなと思いながら、できていないのが現実です。そういう対策もしなければいけないと思いました。

後半の演習で取り組んだ、3日間生き延びるために必要なものを10個あげるというのが、なかなか難しかったですね。他のグループからあがってきたものを聞くと、なるほどそれは確かに必要だというものがあり、全然発想の違う答えがあっちこっちから出てきて、参考になることが多かったですね。そう思いながら、ずっと聞いていたら、10個どころか20数個用意しなきゃいけないと思いました。特に女性でなければ気がつかないようなものもあると思いました。避難所で必要なものを考える、本当に必要なものと、あったらいいなと思うものを分けてくださいというお話があって、確かにその通りだなと思いました。特に冬の時期と夏の時期では、用意するものが違うでしょうしね。その時期に応じた、今だったら携帯カイロとか、熱いお湯が入れられるような水筒とか、そういうものはいるでしょうし、夏だったら熱中症を防ぐためのものが要るだろうし、その時期その時期に応じたものを考えていくことが必要だと考えさせられました。

本当に参考になるお話を聞かせていただきありがとうございました。

◎各委員が承認

5 その他

事務局

※ 以降の進行は事務局が担当

事務局から次の4件について報告

- ① 町議会定例会（12月）における一般質問・答弁について（生涯学習課関係）
- ② 複合施設（中央公民館改築）整備計画について
- ③ 埋蔵文化財収蔵施設建設計画の見直しについて
- ④ コミュニティスクールの導入状況について

6 閉会あいさつ